

## 「骨髄異形成症候群 iPS 細胞を用いた治療標的探索(2)」について

### (1) この研究の目的と意義について

吉田研究室では骨髄異形成症候群 (MDS) -iPS 細胞より樹立した造血前駆細胞が分化障害などの MDS の病態を再現すること、さらに MDS-iPS 細胞では正常細胞と遺伝子の発現状態が異なることを明らかにしました。今回新たに開始する研究は、MDS-iPS 細胞でおきている遺伝子発現の異常が MDS の病態にどのような影響を与えるかを調べ、治療標的の探索につなげることを目的としています。

### (2) 研究の方法について

この研究は日本新薬株式会社との共同研究で実施されます。過去に上記の対象者に該当する MDS 患者さんから作製した MDS-iPS 細胞を血液細胞に分化させます。MDS-iPS 細胞から分化させた血液細胞で特定の遺伝子の機能を阻害したときに、どのような変化がおこるかを観察します。吉田研究室と並行して、共同研究先の日本新薬株式会社でも機能阻害の実験をおこなう予定です。

研究期間 : 承認日~2021 年 3 月 31 日

研究機関 : 京都大学 iPS 細胞研究所

研究責任者 : 増殖分化機構研究部門部門・准教授・吉田 善紀

共同研究機関 : 日本新薬株式会社

共同研究機関の研究責任者 : 創薬研究所探索研究部部长・藤原秀豪

研究で利用する試料・情報等の項目	<試料> iPS 細胞 <情報> 性別、年齢、血液型、診療録
試料・情報の利用目的及び利用方法	当該研究を実施するため
試料・情報を利用する者の範囲	CiRA 吉田研究室及び日本新薬株式会社
他機関へ提供する試料や情報等	<試料> iPS 細胞 <情報> 上記 iPS 細胞の細胞分化マーカーの発現測定

	データ
他機関へ提供する方法	<p>&lt;試料&gt; 試料の保存状態を維持するための専用容器に封入のうえ、追跡可能な輸送手段により提供先機関まで届けます。</p> <p>&lt;情報&gt; 印刷物は追跡可能な輸送手段で提供先機関に送付、電子データは適切な情報セキュリティを確保の上で提供先機関に送信します。</p>
提供先における試料・情報の管理責任者	<p>機関名：日本新薬株式会社</p> <p>研究責任者：藤原 秀豪</p>

### (3) 個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

### (4) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

### (5) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象者に該当する方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

### (6) 連絡窓口

京都大学 iPS 細胞研究所 CiRA 倫理審査委員会事務局  
 電話番号：075-366-7000  
 受付時間：平日 10:00~17:00  
 Eメール：[ips-ethics@cira.kyoto-u.ac.jp](mailto:ips-ethics@cira.kyoto-u.ac.jp)  
 期 日：無期限

以上